

2026年3月25日

一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
MoN Takanawa: The Museum of Narratives

宇宙から縄文土器、車輪やお寿司、つむじ、思考の巡りまで一。
世界は「ぐるぐる」進んでいる。

MoN Takanawa 開館記念特別展

「ぐるぐる展—進化しつづける人類の物語」

世界の見方が変わる。自分を発見する新しい知的エンターテインメント
音声ガイドと巡る、全6つの異なるぐるぐるゾーンに潜入！

2026年3月28日(土)よりスタート

2026年3月28日(土)、TAKANAWA GATEWAY CITY に誕生する文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives (以下 MoN Takanawa)」(運営：一般財団法人 JR 東日本文化創造財団)。100年先へ文化をつなぐ場として、来場者一人ひとりの体験から多様な物語 (Narratives) が生まれることを目指す本施設の幕開けを飾るのが、開館記念特別展「ぐるぐる展—進化しつづける人類の物語」です。



■なぜ、いま「ぐるぐる」なのか：MoN Takanawa が目指す「物語」の原点

MoN Takanawa がこれから生み出していく活動を象徴するキーワード、それが「ぐるぐる」です。

人と人、過去と未来、異なる分野が混ざり合いながら新しい文化が生まれていく。その動きは、ぐるぐると巡るスパイラルの形に重なります。このスパイラルは、MoN Takanawa の建築やロゴにも現れている、本施設の思想そのものです。

開館記念特別展「ぐるぐる展」は、その考え方を体験として届ける最初の展覧会です。人類の進化を支えてきた普遍的な形「ぐるぐる」をテーマに、自然の循環、都市の更新、人の身体や思考の巡りなど、世界にあふれる多様な「ぐるぐる（めぐり・くりかえし・螺旋）」を手がかりに展開します。

アート、社会、テクノロジー、伝統文化など多様な世界を音声ガイドとともに巡りながら、新しい世界の見方や生き方に会おう知的エンターテインメントです。本展は、MoN Takanawa の活動の出発点であり、これからのあり方を象徴するテーマ展です。

■ぐるぐる展の見どころ：音声ガイドとともに、6つのZONEで古今東西の「ぐるぐる」の物語をめぐる旅

宇宙から縄文土器、東京を回り続ける山手線、毎日繰り返す家事、旅するように暮らすモンゴルの遊牧民、そして私たちの指紋やつむじ、思考の巡りまで——。人類ははるか昔から「ぐるぐる」に可能性を見出し、文明を築いてきました。その軌跡はまさに進化の物語です。ぐるぐるは、技術や文化、そして喜びを生み出す「未来をつくる原動力」です。

会場には約100点のアイテム、50種類以上の「ぐるぐる」の世界が集結。20名を超えるアーティストやクリエイターの作品、社会や歴史の資料などを、音声ガイドのキャラクター「UZU（ウズ）」と「メグル」の導きで巡ります。

美しいアート、学びや遊びの体験、思考を整えるオリジナルの香りに包まれるインスタレーションなど、五感を刺激する全6つのぐるぐるゾーンを通して、子どもから大人まで自分自身をアップデートする新たな視座を体験できます。

※本展は音声ガイドを聞きながら体験する展覧会です。ご来場の皆さまに専用の音声ガイドを提供します。（対象：小学生以上）

【音声ガイド案内役（日本語）】

- ・UZU（声：坂本真綾）
- ・メグル（声：岡野友佑）

● Zone 1 | World：ようこそ、ぐるぐるの世界へ

この世界に、地球にある無数の「ぐるぐる」の存在を知り、人類がはるか古代より自然界に存在する螺旋や回転の動きと効率性に注目し、科学技術を発展させてきたことをご紹介します。



「白亜の螺旋」

三谷 純（みたに じゅん）

作家紹介：コンピュータグラフィックスの領域から折り紙研究を行う。本展のために、3種類の「ぐるぐる」形状を高さが60～80cmほどの過去最大サイズで制作。

● Zone 2 | Art：ぐるぐるは美しい

回るもの、螺旋の模様、動き続けるものに人々は魅了されます。ぐるぐるに魅了された4人のアーティストの作品を目の前に、瞬間の発見、前に向かう進化、深い思考を誘います。

<主な作品>



「Heading」

後藤 映則 (ごとう あきのり)

作家紹介：動きと時間、その記憶を光によって浮かび上がらせるアーティスト。本展では、世界各地の横断歩道を渡る人の姿をモチーフにしたシリーズに新作を含む5点を展示する。



「モルフォタワー／二つの立てる渦」

児玉 幸子 (こだま さちこ)

作家紹介：磁性流体を用いた作品で世界的に知られる。文化庁メディア芸術祭デジタルアートインタラクティブ部門大賞をはじめ受賞歴多数。



「時間層 IV」

岩井 俊雄 (いわい としお)

作家紹介：メディアアートの先駆者であり、1997年、坂本龍一とともにアルスエレクトロニカのインタラクティブ・アート部門グランプリ受賞。絵本作家として『100かいだてのいえ』シリーズ(偕成社)でも知られ、アナログとデジタルの境界を超えた活動を行う。



「自連車」

東 弘一郎 (あずま こういちろう)

作家紹介：金属加工の技術によって、主に人がかかわることで動く立体作品を制作する。代表作は、2023年に韓国の国立アジア文化殿堂で展示された「無限車輪」など。近年はアジアを中心に海外グループ展にも参加。

● Zone 3 | City : ぐるぐる動くまちと暮らし

わたしたちの生活の中には、車輪や建築物など形として見えるものもあれば、日々繰り返される家事など見えづらいものもあります。様々な役割の「ぐるぐる」が、あらゆる場面でわたしたちの社会や生活を支えていることに気づきます。

<主な作品>



「山手線」

テラダモケイ/TASKO Inc./Gakki Lab.

写真：西田 香織

「1/100 建築模型用添景セット」シリーズで人気のテラダモケイが山手線沿線をデザイン。紙の電車を動かすのは国内外の多くのプロジェクトで装置設計製作を手掛けてきた TASKO と Gakki Lab.

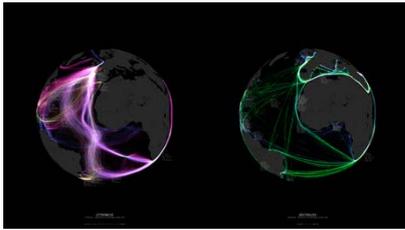


「モンゴル遊牧民」

監修協力：小長谷 有紀 (こながや ゆき) / 堀田 あゆみ

写真：清水 哲朗

広い大地を移動しながら暮らすモンゴルの遊牧民。その“ぐるぐる”としたライフスタイルを、モンゴル研究の第一人者小長谷有紀ら監修協力のもと紹介する。



「Visualization of the world's vessel routes in the 18th and 21st centuries」

慶應義塾大学 SFC 脇田玲研究室
(菊田 有祐・山辺 真幸・脇田 玲)

データビジュアライゼーションの研究、作品作りで知られる慶應義塾大学 SFC 脇田玲研究室チームによる、1750年から1850年のヨーロッパ帆船の航路と、現在の輸送船の航路とを可視化した映像作品。本展に際し、最新データを取り入れてアップデートされた。



「ぐるぐる家事図鑑」

料理、洗濯、掃除、ごみ出しなど、毎日繰り返す「家事のぐるぐる」を数字で表現。巨大電卓で1週間の合計回数を計算すれば、家事レベルを測れる。



「chains」

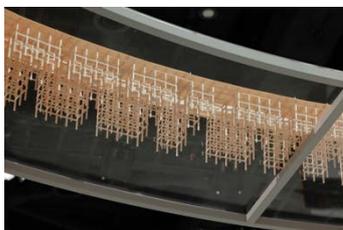
真鍋大度(まなべ だいと) + 登本悠介(ともと ゆうすけ) + 石井 2bit

Bjork、Arca、坂本龍一、Perfume らとのコラボレーションでも知られる真鍋大度が登本悠介、石井 2bit とともに制作。2013年に自ら株式市場の自動取引システムを構築し、2016年にはビットコインの取引ロジックを設計・実装。その挙動を可視化することで、AIが一般化する以前から、意思決定の自動化とその不可視性を扱った作品。

● **Zone 4 | Culture : ぐるぐると文化をつなぐ**

伝統行事や芸術などの「文化」は、過去から現在へ長い時間をかけ、時に変化しながらも受け継がれてきました。人の心を惹きつける形や模様、継承を支える仕組みやルールなど「ぐるぐる」が組み込まれたものが数多く見られるのです。

< 主な作品 >



「2025年大阪・関西万博 大屋根リング 1:200 模型」

藤本壮介建築設計事務所

世界中には、らせんや円の形をした「ぐるぐる建築」が多数存在する。大屋根リングは「多様でありながら、ひとつ」という理念のもと大阪・関西万博のシンボルとして設計されたもの。本展では1/200サイズの模型を天井に浮かべ、今までにない大屋根リングの構造を下から見ることができ、ひとつの空を共に見上げる体験が想起される。



「一子相伝の技 樂家」

樂家十六代 樂 吉左衛門

展示協力：樂美術館

技と心を我が子や弟子の一人だけに伝える「一子相伝」。京都の陶工「樂家」は約450年の歴史を持つ。本展では現在の当主・十六代目吉左衛門の「今焼茶碗」が展示される。



「相撲」

展示協力：公益財団法人日本相撲協会

相撲の深みとおもしろさを引き出しているのは、円形の土俵。1500年もの間継承され続けてきた相撲の魅力を、第69代横綱白鵬が締めた横綱とともに紹介する。



ロングナウ・プロジェクト

展示協力：The Long Now Foundation

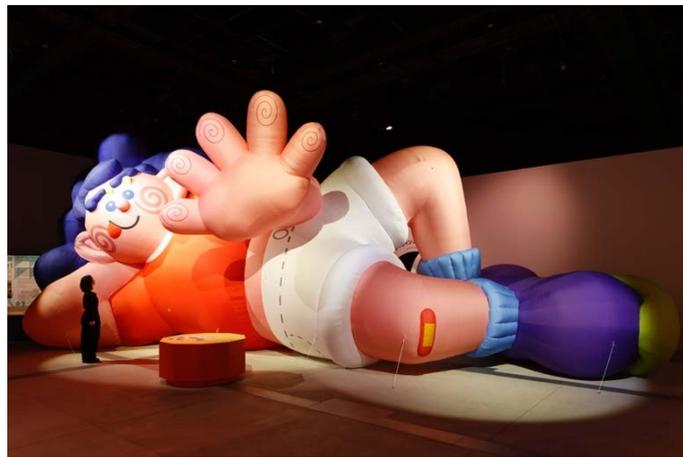
『ホール・アース・カタログ』創刊者スチュアート・ブランド、音楽家のブライアン・イーノらが設立したThe Long Now Foundation。

「1万年動く時計」の建設プロジェクトを、技術の要となる均時差カムや、イーノの鐘の音とともに紹介。

- **Zone 5 | Human : ぐるぐるがわたしをつくる**

わたしたちの身体や心の中にも、不思議な「ぐるぐる」がいっぱいあります。指紋やつむじのような模様から、繰り返す毎日の習慣まで。そう、わたしたちは意識しなくても、常に「ぐるぐる」と生きていることに気づきます。

<主な展示品>



「大きな UZU」

UZU キャラクターデザイン：nanao

- **Zone 6 | Think : ぐるぐる考える**

都市、文化、そして人の体や心。世界にあふれる「ぐるぐる」と出会う旅の最後。悩みや発見、喜びや悲しみを繰り返しながら、ぐるぐるの中にいる自分。考える人になったり、ぼーっとしたり、おみくじを引いてゆっくりと螺旋を描きながら、少しずつ前に上へと進んでいく生き方のヒントに出会います。

<主な作品>



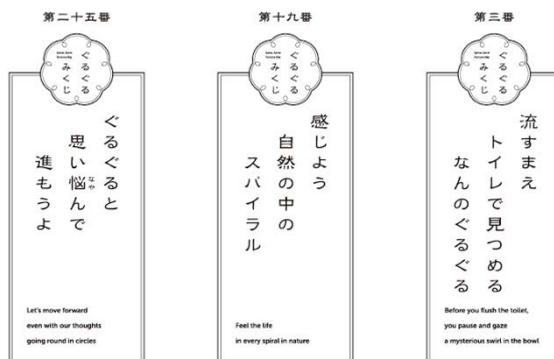
「考える人」



「ぐるぐるインスピレーション」
株式会社ホーダウン／siro Inc／SYGNAL／
Syna Studio／池田航成
香りデザイン：株式会社キチベエ

● Ending

展示の最後には、あなたの生き方を切り開く「ぐるぐるおみくじ」をご用意。
あなた自身の新しい「物語 (Narrative)」を動かすヒントになるはずです。



「ぐるぐるおみくじ」

■ 開催概要

- ・会期：2026年3月28日(土)～9月23日(水・祝)
- ・時間：10:00～19:00(金・土曜日は10:00～21:00)
- ・会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1500

主催・企画制作：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

協賛：株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム&セールス

後援：株式会社フジテレビジョン

作品展示・制作：

東 弘一郎／岩井 俊雄／慶應義塾大学 SFC 脇田玲研究室 (菊田 有祐・山辺 真幸・脇田 玲)
／児玉 幸子／後藤 映則／清水 哲朗／テラダモケイ・TASKO Inc.・Gakki Lab.／nao／
西田 香織／西山 芳一／NOIZ・堀川 淳一郎／廣川 玉枝 (SOMA DESIGN) ／藤本壮介建築
設計事務所／エミリ・ベルト／株式会社ホーダウン・siro Inc・SYGNAL・Syna Studio・
池田 航成／真鍋 大度+登本 悠介+石井 2bit／三谷 純／樂家十六代 樂 吉左衛門

展示協力（団体・企業）：

青山学院大学駅伝チーム／今けんミュージアム（祈りと暮らしの記憶）／エア・ウォーター株式会社／カルビー株式会社／北日本カコー株式会社／甲子園歴史館／株式会社金剛組／株式会社サザコーヒー／The Long Now Foundation／株式会社 JR 東日本ビルディング・JR 東日本ビルテック株式会社・東京美装興業株式会社・セントラル警備保障株式会社・株式会社 JR 東日本環境アクセス・JR 東日本コンサルタンツ株式会社／清水建設株式会社・株式会社熊谷組・東急建設株式会社・株式会社竹中土木・株式会社鴻池組特定建設工事共同企業体／医療法人 春林会 華岡青洲記念病院／神宮司庁／セイコーグループ株式会社／SOMA DESIGN／ダイソン株式会社／高輪神社／中越パルプ工業株式会社・一般社団法人たねまき／十日町市博物館／長岡市立科学博物館・馬高縄文館／有限会社二軒茶屋餅角屋本店・株式会社浅野屋／日清食品株式会社／公益財団法人日本オリンピック委員会／公益財団法人日本相撲協会／株式会社ノーウェア／fabula 株式会社・東京大学（酒井雄也研究室）・東日本旅客鉄道株式会社／株式会社フレーベル館／株式会社マリンナノファイバー／御田八幡神社・品川駅港南町会／メルセデス・ベンツ日本合同会社／LINE ヤフー株式会社／楽美術館

展示協力（個人）：

伊沢 正名／郡上どっと com（本田 吉明）／下田 道雄／田中 溪／本阿彌 匠／山岸 美喜

監修協力：

小長谷 有紀（武雄アジア大学学長）・堀田 あゆみ（立命館大学 OIC 総合研究機構サステイナビリティ学研究センター 客員研究員）／鈴木 一義（国立科学博物館名誉研究員）

音声ガイド声優：

（日本語版）岡野 友佑／坂本 真綾

（英語版）Anya Floris／Edward MO

■チケット情報

チケット価格（税込）：

- ・先行：一般 2,300 円/U25 1,300 円/小中高生 600 円
- ・通常：一般 2,500 円/U25 1,500 円/小中高生 800 円
- ・未就学児 無料
- ・当日販売券：あり

<チケット購入サイト>

- ・MoN Takanawa チケット：<https://ticket.montanakanawa.jp/project/26b1000-1>
- ・MoN Takanawa 公式プレイガイド（Fever）：<https://feverup.com/m/579442>

<詳細>

- ・MoN Takanawa 公式ウェブサイト「ぐるぐる展—進化しつづける人類の物語」
<https://montakanawa.jp/programs/spiral/>

■施設概要

伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム
MoN Takanawa: The Museum of Narratives について

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界へ「門」、そして、未来を考え創造するための「問(問い)」の2つの意味が込められています。



Photo: Yasuyuki TAKAKI

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

公式サイト：<https://montakanawa.jp/>

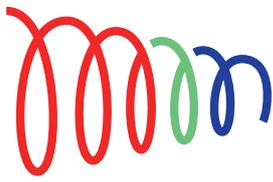
公式インスタグラム：<https://www.instagram.com/montakanawa/> (@montakanawa)

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよび SNS を通じて順次発信いたします。

※パース提供：JR 東日本

※2026年3月の情報を元に制作したものです。内容は今後変更となる可能性があります。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人 JR 東日本文化創造財団の登録商標です。



2026年3月25日

一般財団法人JR東日本文化創造財団

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

Appendix

Zone 1 | World : ようこそ、ぐるぐるの世界へ

— 監修協力：鈴木 一義

白亜の螺旋
光の旋回
永遠の白河
— 三谷 純

Zone 2 | Art : ぐるぐるは美しい

自連車
— 東 弘一郎

モルフォタワー / 二つの立てる渦
— 児玉 幸子

時間層IV
— 岩井 俊雄

Heading
— 後藤 映則

Zone 3 | City : ぐるぐるで動くまちと暮らし

車輪とエンジン

ベンツ・パテント・モートルヴァーゲン

— 展示協力：メルセデス・ベンツ日本合同会社

山手線

— テラダモケイ / TASKO Inc. / Gakki Lab.

— 写真：西田 香織

トンネル工事

— 西山 芳一

— 展示協力：清水建設株式会社・株式会社熊谷組・東急建設株式会社・株式会社竹中土木・株式会社鴻池組特定建設工事共同企業体

航海

Visualization of the world's vessel routes in the 18th and 21st centuries

— 慶應義塾大学 SFC 脇田玲研究室（菊田 有祐・山辺 真幸・脇田 玲）

モンゴル遊牧民

— 監修協力：小長谷 有紀 / 堀田 あゆみ

— 写真：清水 哲朗

遊園地

フード

持ち運べる回転寿司レール かるペア®

— 展示協力：北日本カコー株式会社

家事

ぐるぐる家事図鑑

サイクロン技術

G-Force 初号機

— 展示協力：ダイソン株式会社



Zone 1 | World : ようこそ、ぐるぐるの世界へ



Zone 2 | Art : ぐるぐるは美しい



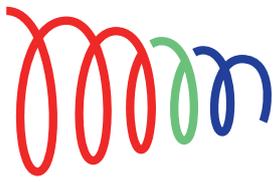
山手線



《Visualization of the world's vessel routes in the 18th and 21st centuries》



《ぐるぐる家事図鑑》



2026年3月25日

一般財団法人JR東日本文化創造財団

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

お金

chains

— 真鍋大度+登本悠介+石井 2bit

危機を乗り越える社会

— 展示協力：日清食品株式会社 / LINE ヤフー株式会社

アップサイクル

Bread Ale -Baguette-

— 展示協力：ISEKADO / 株式会社浅野屋

キッチンノファイバー

— 展示協力：株式会社マリナノファイバー

竹紙

— 展示協力：中越パルプ工業株式会社 / 一般社団法人たねまき

液化バイオメタン

— 展示協力：エア・ウォーター株式会社

fabula

— 展示協力 fabula 株式会社 / 東京大学（酒井雄也研究室） / 東日本旅客鉄道株式会社

日報

— 写真：西田 香織 — 展示協力：株式会社 JR 東日本ビルディング / JR 東日本ビルテック株式会社 / 東京美装興業株式会社 / セントラル警備保障株式会社 / 株式会社 JR 東日本環境アクセス / JR 東日本コンサルタンツ株式会社

(ハッシュタグ)

人の縁

— スモールワールド現象

神輿

— 展示協力：高輪神社 / 御田八幡神社 / 品川駅港南町会

Zone 4 | Culture : ぐるぐると文化をつなぐ

唐草模様

BAPE®のデニム

— 展示協力：株式会社ノーウェア

縄文土器

— 国宝 火焰型土器（新潟県笹山遺跡出土深鉢形レプリカ）

— 展示協力：十日町市博物館

— 重文 火焰土器（新潟県馬高遺跡出土深鉢形レプリカ）

— 展示協力：長岡市立科学博物館 / 馬高縄文館

JOMON PROJECT

— NOIZ / 堀川 淳一郎

— カップヌードル専用 縄文 DOKI ★ DOKI クッカー

— 展示協力：日清食品株式会社

渦踊り

— 廣川 玉枝 (SOMA DESIGN)

— 展示協力：SOMA DESIGN / 郡上どっと com (本田 吉明)

相撲

— 展示協力：公益財団法人日本相撲協会

回文

— 展示協力：株式会社フレーベル館協会

建築

— 2025年大阪・関西万博 大屋根リング 1:200 模型

— 藤本壮介建築設計事務所



《chains》



《スモールワールド現象》



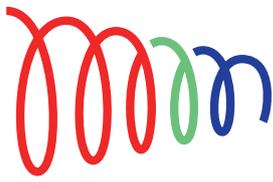
(ハッシュタグ)



《カップヌードル専用 縄文 DOKI ★ DOKI クッカー》



《『廣川玉枝 in BEPPU』地獄祭神事奉納一祭礼巡行》
Photo: Takeshi Hirabayashi ©SOMA DESIGN / 混浴温泉世界実行委員会



2026年3月25日

一般財団法人JR東日本文化創造財団

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

スポーツの伝統

東京 2020 オリンピック聖火トーチ

— 展示協力：公益財団法人日本オリンピック委員会

青山学院大学陸上競技部ユニフォーム、襪

— 展示協力：青山学院大学駅伝チーム

第102回全国高等学校野球選手権大会 優勝旗 レプリカ

— 展示協力：甲子園歴史館

巡礼の旅

— 展示協力：今けんミュージアム（祈りと暮らしの記憶）

88

— エミリ・ベルト

季節の楽しみ

— 展示協力：カルビー株式会社

組織

手斧（ちょうな）

— 展示協力：株式会社金剛組

一子相伝の技 樂家

今焼茶碗

— 樂家十六代 樂 吉左衛門

— 展示協力：樂美術館

式年遷宮

— 展示協力：神宮司庁

ロングナウ・プロジェクト

— 展示協力：The Long Now Foundation

Zone 5 | Human : ぐるぐるがわたしをつくる

大きな UZU

— nanao

クロノタイプ

— 展示協力：セイコーグループ株式会社

生き物ぐるぐるコレクション 指紋・DNA・つむじ

ぐるぐるスケルミラー！ 血流・腸

大脳

先祖と子孫

— 展示協力：株式会社サザコーヒー / 医療法人 春林会 華岡青洲記念病院 / 本阿彌 匠 / 山岸 美喜

考える人

ぐるぐるの達人たち

— 展示協力：伊沢 正名 / 下田 道雄 / 田中 溪

Zone 6 | Think : ぐるぐると考える

ぐるぐるインスピレーション

— 株式会社ホーダウン / siro Inc / SYGNAL / Syna Studio / 池田 航成

Ending

ぐるぐるみくじ



《今焼茶碗》



大きな UZU



考える人



ぐるぐるインスピレーション



ぐるぐるインスピレーション